

博物館だより

No.80

平成24年12月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13

▲修験の靈山「蔵持山」発掘速報展

お問い合わせ先	みやこ町歴史民俗博物館内 友の会事務局
年会費	個人会員 3000円 家族会員 1名2000円

- ♪ 入会の方法
博物館の窓口で会費を納めてください。
- ♪ 年会費
個人会員 3000円
家族会員 1名2000円

■会期　12月23日(日)まで
■場所　当館展示室
■観覧料　常設展の観覧料でご観覧いただけます。

当館では、企画展「修験の靈山『蔵持山』発掘速報展」を開催しています。

蔵持山(みやこ町犀川上高屋)は、彦山六峰の一つに数えられる修験道の靈山です。今回の企画展では、蔵持山の林道建設とともに、平成16・17年度及び24年度に行われた発掘調査の出土品を中心に、約100点の資料を展示しています。

ぜひ、ご来館ください。

博物館友の会 会員募集!

みやこ町歴史民俗博物館友の会は、「故郷を楽しく学ぶ」をモットーに講演会やバスハイク、史跡巡りなどさまざまな行事を行っています。意欲のある方であればどなたでもお気軽に参加いただけます。

- 主な展示品
 鎌倉室町の金銅製仏具など
 宿坊遺構出土経石(江戸時代)
 荘字文軒丸瓦(平安～鎌倉時代)
- 巨石遺構出土品
 集石遺構埋納品
 (鎌倉時代の白磁壺・和鏡など)

12月23日まで開催中

「蔵持山」発掘速報展

修験の靈山

業務日誌から



▲10/28こども古墳めぐり(綾塚古墳にて)

10月27日(土)・28日(日)、古墳フォーラム記念イベント「古墳めぐり」を実施しました。27日は「おとな古墳めぐり」、28日は「こども古墳めぐり」で、2日間合計87名が参加し、いずれも、みやこ町と対田町の古墳をめぐりました。



▲10/27おとな古墳めぐり(御所山古墳にて)

11月3日、博物館友の会バスハイク。53名が参加し、福岡県みやま市の清水寺などをめぐりました。

11月4日、古墳フォーラム記念イベント「古代のモノづくり体験教室」を実施。小中学生及び保護者71名が参加し、土面・土偶・土版・土笛を作りました。



▲11/4古代のモノづくり体験教室(豊津公民館)



▲11/3友の会バスハイク(みやま市清水寺にて)

みやこの歴史発見伝 60

くら もち やま

蔵持山の山岳信仰遺跡群②

—この夏に蔵持山中で行われた発掘調査の成果紹介—

蔵持山遺跡群の第3次調査

A江戸時代の宿坊の構造

①入口を道から遠くに設ける

7月号でご紹介した霊山・蔵持山で、去る6月から11月にかけ3度目となる発掘調査が行われました。

調査は林道の建設工事に先立つて行われたもので、工事で破壊が避けられないので、工事で破壊が避けられない約250mを対象に実施され、平安時代から明治時代にかけての山の活動をうかがわせる資料が出土しました。

調査対象地は中谷と呼ばれる宿坊(山伏住宅)集落のうち、梅本坊・宝泉坊と呼ばれる山伏の宅地跡で、それぞれ約10m四方を手作業で掘り進める形で行われました。調査の結果はこれまでと同様の内容のものもあれば、新たな発見や従来の見解を補強・拡充するものもあり、貴重な成果が得られました。

今回は調査後間もないフレッシュな情報がまとまりつつある、第3次調査の成果・情報をお伝え致します。

第3次調査新発見トピックス

—江戸期とそれ以前における宿坊に関する構造上の特色の発見



▲梅本坊庭内に設えられる泉水(庭園)



▲調査が行われた中谷(本道筋)の宿坊集落

B江戸時代以前(中世ともいう)の宿坊の構造

①建物の基本は掘立柱普請

建物は基本的に掘立柱構造となっていました。別に貧しいからではなく、当時はこれが主流であり、地盤の弱い山中では掘立の方が経済的だったのです。

②敷地は江戸期の半分ほど?

これは泉水がいざというときに防火用水になり、それも厳しい大火の際は、大事な荷物を投げ込んで避難すれば立派な防火金庫がわりに荷物を守ってくれるからなんだそうです。

③家屋構造の基本は直屋

直屋(すこや)は平面が長方形と描く夢でこれの実現にはいわゆる「甲斐性」が必要とされます。山伏

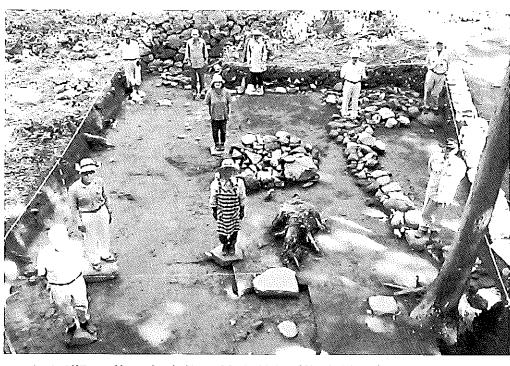
のものもあれば、新たな発見や従来の見解を補強・拡充するものもあり、貴重な成果が得られました。

今回は調査後間もないフレッシュな情報がまとまりつつある、第3次調査の成果・情報をお伝え致します。

—江戸期とそれ以前における宿坊に関する構造上の特色の発見



▲出土した経石。諦・無・妙などの文字がみられる



▲江戸期の礎石立建物の検出状況(梅本坊跡)

屋に対して直交して建てるというのが、基本形のようです。

B江戸時代以前(中世ともいう)の宿坊の構造

①地鎮祭に使用? 経石の発見

石が埋められているのが見つかりました。周辺の状況から普請の際の地鎮用とみられ、法華經や地神經等を記した小石を埋納して、屋敷地開削の許しを請い、普請の安全を祈願したものとみられます。

②口ばっかりは江戸の昔から「彦山ガラガラ口ばっかり」と、

③この他の発見

以上、宿坊にちなむ内容が中心となってしましましたが、今後もふる里の靈山が持つ豊かな歴史・文化情報をお届けしたいと思います。

以上、宿坊にちなむ内容が中心となっていましたが、今後もふる里の靈山が持つ豊かな歴史・文化情報をお届けしたいと思います。